

BLUE+AKITA Network Press

2016年11月号

ブラウブリッツ秋田が J2 に昇格するためには ～J2 ライセンスについて～

本日の SC 相模原戦は、クラブ史上初の入場者数 5,000 人を目標して『5,000 人 de 応援デー』と題して開催されております。さて、みなさんは、ブラウブリッツ秋田が現在目標としている J2 昇格のためにいくつかの資格要件を課せられていることをご存知でしょうか？ そこで本稿では、J2 昇格と深く関わってくる「クラブライセンス制度」について、簡単ではございますがご説明させていただきます。

J1リーグに参加希望のクラブは、定められた基準を満たした上でクラブライセンスの交付を受けることが必要です。つまり、現在 J3 リーグに所属しているブラウブリッツ秋田は、毎年の審査をクリアした上で J3 クラブライセンスが交付されているということになります。では、どういった審査を受けてクラブライセンスは交付されるのでしょうか？

クラブライセンス制度は、5つの審査基準で構成されています。これらの基準のそれぞれに「A」「B」「C」の等級がつけられており、Aに位置付けられた項目をひとつでも満たさないクラブにはライセンスが交付されません。

競技基準・・・育成部門の整備や選手との契約締結義務など(7項目)

施設基準・・・スタジアム、練習場の確保やそれらのスペックなど(17項目)

人事体制・・・組織運営基準:部門別担当者の配置など(19項目)

法務基準・・・競技規則、J1リーグ規約の遵守義務など(6項目)

財務基準・・・適法かつ適正な決算、監査の実施など(8項目)

結論からいえば、ブラウブリッツ秋田は上記5つの基準のうち、4つを既にクリアしております。ですが、ひとつの基準をクリアしていないために J2 クラブライセンスの申請を断念せざるを得ないのです。そのクリアしていない基準は、「施設基準」になります。残念ながら秋田には、J2 の試合が開催できる基準を満たしたスタジアムが現在ありません。

スタジアムには、10,000 人以上収容(※J1 は 15,000 人以上)、ナイター照明、大型映像装置、屋根の設置など細かい審査項目があり、基準を満たしていないブラウブリッツ秋田は、自治体、団体・企業等と協力しながら既存施設の改修もしくはスタジアム新設という道を今後探っていくことになるのです。

もちろん、スタジアムが建設されて J2 クラブライセンスが交付されたからといって J2 にすぐ昇格できるのかといえばそうではなく、自動昇格の条件となる J3 優勝(※2位は入替戦)、年間平均入場者数 3,000 人以上などのクリアすべき条件は他にもあります。しかし逆にいえば、ブラウブリッツ秋田が J3 で優勝しても J2 に昇格できないということが、いま置かれている現状でもあります。まずはこのことをご理解いただけますと幸いです。そして、ブラウブリッツ秋田が J2 に昇格するためには本日スタジアムにご来場いただいたみなさまのサポートが必要であることを記し、この稿を終わりとさせていただきます。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました！

BLUE+AKITA メンバー募集中！

BLUE+ AKITA(ブルータス・アキタ)はブラウブリッツ秋田を応援するサポーターの集まりです。参加希望・お問い合わせは BLUE+ AKITA Network ブログからどうぞ

<http://www.bluetas.net>

ブログページ上側の「メッセージを送る」からお気軽にお問い合わせください。



ブラウブリッツに夢を乗せてみよう！

ブラウブリッツ秋田のホームゲームにご来場ありがとうございます。
寒い中の観戦大丈夫でしょうか？ 暖かいものを食べ、身体を温めてから観戦を楽しみましょう。

さて、毎試合が決勝戦のようなシーズン終盤を闘うブラウブリッツ秋田ですが、第27節のホーム大分戦まで優勝の可能性があった状況でした。ホーム戦5連勝で絶好調の秋田でしたが、昇格のために絶対に負けられない大分の前にPKで先制を許し、相手が退場者を出してこちらが数的有利ながらも執念で1点を守りきられてホームでは久しぶりの敗戦。この敗戦で、首位栃木との勝ち点差が12となり、残り3試合をすべて勝っても勝ち点で上回れないことが確定。ブラウブリッツの優勝の可能性が消えた敗戦でした。

ただ、この時期まで優勝の可能性を残したままリーグ戦を戦えていることに誇りを感じています。残り3試合は全勝して、できるだけ高い順位でリーグ戦を終えて欲しい。リーグ戦の序盤では、ブラウブリッツが1ヶ月ほど首位を守っていた時期もあり、躍進をこれまで以上に感じさせるシーズンでした。応援してこれほど楽しいシーズンは今までなかった。

もう、「あの弱いサッカーチーム」と言われることはいつの間にかなくなっていました。

来年以降、我々が目指すものは、J3優勝とJ2昇格への道筋を付けることです。今年の躍進を機会に、J2を開催できるスタジアムをどうするかという議論が秋田県や秋田市の議会で始まっています。想像してみましょう、秋田に素晴らしいスタジアムがあり、熱いリーグ戦が見られることを。

- ・県内外からサポーターが観戦に訪れ、秋田の中心市街地が賑わう経済効果——
- ・秋田がJ2昇格することで得られる、秋田県自体のアピール効果——
- ・スポーツ観戦を文化にすることで得られる、活力ある日常——

多額の建設費がかかる事業ですが、経済効果が生まれ、生きがいを持つことで心が元気になったり、例えば医療費が削減されたりと、もしかしたら建設費が安かったと言えるものができる可能性もあります。しっかりとした議論の元、秋田のためになるスタジアムができることを楽しみにしています。ブラウブリッツに夢を乗せてみましょう。よろしければ、来年2017年シーズンも、今年と変わらない注目と声援をよろしく願いいたします。

さて、話はそれましたが、間もなく試合が始まります。まずは目の前の試合を楽しみましょう。

Go ! Blaublitz !

lilybell

BLAUBLITZ' AKITA 2016 Players and Staff

GK1 野村 政孝	MF15 畠中 祐樹	FW33 船川 琢之介
DF3 韓 浩康	FW16 遊馬 将也	MF36 比嘉 諒人
DF4 深井 脩平	FW17 塚 俊暉	DF43 下田 光平
DF5 堀田 秀平	MF18 畑田 真輝	
MF6 日高 慶太	MF20 青島 拓馬	監督 間瀬 秀一
MF7 前山 恭平	GK21 松本 拓也	コーチ 菅原 太郎
MF8 熊谷 達也	GK23 大石 文弥	GKコーチ 太田 渉
FW9 呉 大陸	DF24 山田 尚幸	アスレティックトレーナー 三木谷 友彰
MF11 久富 賢	MF25 伊東 輝悦	アシスタントトレーナー 竹内 剛
DF13 新里 彰平	FW29 田中 智大	コーチ兼主務 佐藤 博志
MF14 川田 和宏	DF32 浦島 貴大	